

## 千葉市エコドライブ等実施要領

### 1 趣旨

この要領は、自動車環境負荷対策を推進するために千葉市の職員等が実施するエコドライブ及びノーカーデーについて、その実施に関し必要な事項を定めるものとする。

### 2 定義

- (1) 「市職員等」とは、市の職員、市の外郭団体（以下「外郭団体」という。）の職員及び市の指定管理者制度に基づき市の施設の運営等を行う団体（以下「指定管理者」という。）の職員をいう。
- (2) 「公用車等」とは、市の公務のために使用する自動車、外郭団体はその業務のために使用する自動車及び指定管理者が市の施設の運営等をするために使用する自動車をいう。ただし、緊急用車両その他のエコドライブの実施が業務の遂行に支障をきたし、かつ、休車の実施が業務の遂行に支障をきたすこととなる自動車を除く。
- (3) 「公共交通機関等」とは、電車、モノレール、バス、自転車その他の環境に与える負荷が小さい移動手段をいう。
- (4) 「エコドライブ」とは、別表に定める環境にやさしい自動車の使用方法をいう。
- (5) 「ノーカーデー」とは、公共交通機関等を利用することにより公用車等の使用を重点的に削減すること及び通勤手段を可能な限りマイカーから公共交通機関等に切り替えることをいう。

### 3 実施内容

- (1) 市職員等は、公務、通勤時その他日常生活における移動において、公共交通機関等の利用に努めるものとする。
- (2) ノーカーデーの実施日を水曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び12月29日から翌年の1月3日までの日を除く。）と定め、次のことを行うものとする。
  - ア 市職員等は、公用車等（ごみ収集運搬用車両、通学送迎用車両その他の休車の実施が業務の遂行に支障をきたすこととなる自動車、電気自動車及び燃料電池自動車を除く。）の休車に努め、休車率50%を達成、維持するものとする。
  - イ 市職員等は、自主的な取組みとして、通勤手段を可能な限りマイカーから公共交通機関等に切り替えるよう努めるものとする。
- (3) 市職員等は、公用車等を使用する場合はエコドライブを実施しなければならない。
- (4) 市職員等は、通勤時及び日常生活において自動車を使用する場合はエコドライブを実施するよう努めるものとする。

### 4 実施記録

- (1) 公用車等を運転した者は、運転終了時に、運転日誌のエコドライブ評価欄に実施内容を記録し

なければならない。

- (2) 公用車等の管理者は、当該公用車等を運転した者のエコドライブの実施記録を確認しなければならない。

## 5 周知

環境規制課長は、エコドライブ及びノーカーデーの実施について、年度当初及び毎月の第一水曜日にて市職員等に周知するものとする。

## 6 委任

この要領に定めるもののほか、実施に関し必要な事項は、環境規制課長が別に定める。

### 附則

- 1 この要領は、平成20年2月1日から施行する。
- 2 この要領の施行にともない、千葉市ノーカーデー実施要領（平成15年2月1日施行）は、廃止する。

附則 この要領は、平成24年4月2日から施行する。

附則 この要領は、平成28年4月1日から施行する。

附則 この要領は、平成29年4月3日から施行する。

附則 この要領は、令和元年9月3日から施行する。

附則 この要領は、令和4年9月30日から施行する。

別表 環境にやさしい自動車の使用方法（２－（４）関係）

|    |   |   |
|----|---|---|
| 1  | ふんわりアクセル『eスタート』   | 発進時は最も多くの燃料を消費します。発進する時は、ブレーキから足を離したら、一呼吸おくつもりで、ゆっくりアクセルに足を乗せます。アクセルは徐々に踏み込み、なめらかに加速しましょう（最初の 5 秒で 20km/時が目安です。）。 |
| 2  | 加減速の少ない運転   | 加減速の繰り返しは、燃料消費を増加させます。できるだけアクセルの踏み具合を一定に保つ走行をこころがけましょう。先の信号や前の車の動き、駐車車両や工事箇所の有無など、道路状況を良く見て早めに対処しましょう。            |
| 3  | 早めのアクセルオフ   | アクセルから足を離すと燃料がカットされ、燃料の消費を抑えることができます。先の交通状況を見て停止する位置がわかったら、アクセルから足を離してエンジンブレーキで減速しましょう。                           |
| 4  | エアコンの使用を控えめに  | エアコンの使用は多くの燃料を消費します。設定温度が外気と同じであっても、スイッチが ON になっていると燃料を使いますので、気候の良い時には窓を開けて外気を入れるなどの工夫をしましょう。                     |
| 5  | アイドリング・ストップ<br>(千葉県環境保全条例では、駐車場などでの駐停車時のアイドリング・ストップを義務付けています) | 停止していてもエンジンをかけていれば、燃料は消費されます。ある程度の時間停止する事がわかっているときや、発進のタイミングがわかりやすい場所ではアイドリング・ストップをしましょう。                         |
| 6  | 燃費を把握しよう  | 日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装着されている燃費計や燃費が記録できるウェブサイト・アプリケーション等のエコドライブ支援機能を活用しましょう。                          |
| 7  | 計画的なドライブを   | 余計な距離を走らないために目的地までの経路を確認してから出かけましょう。燃費を悪化させないために、渋滞情報もチェックしてから出かけましょう。  |
| 8  | タイヤの空気圧チェック   | タイヤの空気圧が不足すると、より多くの燃料を消費します。タイヤの空気は時間が経つと自然に抜けていきます。見た目ではわかりにくいので、ガソリンスタンドなどで、定期的にチェックする習慣をつけましょう。                |
| 9  | 不要な荷物は積まずに走行  | 車が重くなると、加速時にかかる抵抗が大きくなるなど、燃料消費が多くなる原因となります。   |
| 10 | 違法駐車はやめましょう   | 交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらし余分な排出ガスを出させる原因となります。マナーを守り、地球環境も守りましょう。   |